

平成27年第14回教育委員会

臨時会議事録

平成27年9月30日

東久留米市教育委員会

平成27年第14回教育委員会臨時会

平成27年9月30日午前11時03開会

市役所3階 議会会議室

議題 (1) 諸報告

①全国学力・学習状況調査、市学力調査の結果について

②放課後子供教室について

③平成27年第3回市議会定例会について

(2) 東久留米市立学校教職員の服務事故について

出席者 (5人)

教 育 長	直 原 裕
委 員 (教育長職務代理者)	尾 関 謙一郎
委 員	松 本 誠 一
委 員	名 取 はにわ
委 員	細 川 雅 代

東久留米市教育委員会会議規則第13条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

教 育 部 長	師 岡 範 昭
指 導 室 長	加 納 一 好
教 育 総 務 課 長	遠 藤 毅 彦
学 務 課 長	傳 智 則
生 涯 学 習 課 長	市 澤 信 明
図 書 館 長	岡 野 知 子
主幹・統括指導主事	富 永 大 優

事務局職員出席者

庶 務 係 長	鳥 越 富 貴
---------	---------

傍聴者 4人

◎開会及び開議の宣告

(開会 午前11時03分)

- 直原教育長 これより平成27年第14回教育委員会臨時会を開会します。本日は全員出席です。
-

◎議事録署名委員の指名

- 直原教育長 本日の議事録の署名は名取委員にお願いします。
○名取委員 はい。
-

◎議案の追加と会議の進め方

- 直原教育長 会議の進め方について説明をお願いします。
○遠藤総務課長 本日は先に諸報告を行い、続いて「議案第62号 東久留米市立学校教職員の服務事故について」をご審議いただきます。なお、その際は非公開とし、教育部長、指導室長、教育総務課長以外は退席させていただきます。
○直原教育長 本日は先に諸報告を行い、続いて、人事案件の議案審議を非公開で行いたいという説明がありましたが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

では、そのように進めます。

◎議事録の承認

- 直原教育長 平成27年8月11日に開催した第8回定例会及び8月27日に開催した第13回臨時会の議事録について、ご確認をいただきました。名取委員から修正のご連絡をいただいておりますがほかにはよろしいですか。

(「はい」の声あり)

いずれの議事録も承認されました。

◎傍聴について

- 直原教育長 傍聴の許可に入ります。傍聴者はいらっしゃいますか。
○鳥越係長 いらっしゃいます。
○直原教育長 それではお入りいただきます。

(傍聴者 入室)

◎諸報告

- 直原教育長 諸報告に入ります。「①全国学力・学習状況調査、市学力調査の結果について」をお願いします。
○加納指導室長 平成27年度全国学力・学習状況調査、及び本市が独自に行っている学力調査の結果の公表について、前回に引き続き報告します。前は市全体について報告しましたが、今回は各小中学校の結果の公表についてです。参考までに、前回お配りしました市全体

の資料については本日も配付しています。第一小学校と久留米中学校を例に、公表する資料の説明をします。まず、全国学力・学習状況調査についてです。紙面上段の「学力の定着状況について」をご覧ください。正答数分布として、各教科の児童・生徒数の割合を示しています。棒グラフが本市の児童・生徒数の割合を示し、折れ線グラフが全国の児童・生徒数の割合を示しています。第一小学校の「国語A（知識）」のグラフをご覧ください。第一小学校の児童の割合を示す棒グラフを見ると、6問から8問までを正答している児童の割合は全国を示す折れ線グラフを上回っています。逆に、12問から14問までを正答している児童の割合は全国を示す折れ線グラフを下回っています。こうしたことから、授業の中で基礎的な学力の定着を一層図り、第一小学校の児童の割合を示す棒グラフの頂点が右側に寄っていくような改善をしていく必要が今後あると考えています。

次に、久留米中学校のグラフの下の「平均正答率（全国）未滿の生徒の割合（％）」の表をご覧ください。全国の平均正答率に達していない生徒が全体のどれくらいいるかを表したものです。国語から説明します。国語Aは主として知識にかかわる調査問題ですが、平均正答率未滿の生徒が全国では37.5％いるのに対して久留米中学校では42.7％おり、全国に比べ平均正答率に達していない生徒が同校では多くなっており、今後の課題であることが分かります。一方、国語Bは主として活用にかかわる調査問題ですが、平均正答率未滿の生徒が全国では34.2％にいるのに対して、久留米中学校では31.5％となり、全国に比べて平均正答率に達していない生徒が同校では少なくなっており、概ね良い状況であることが分かります。

続いて、市が独自に行っている学力調査についてです。再度、第一小学校の結果の「学力の伸びについて」をご覧ください。これは平成25年度に第一小学校の5年生に在籍していた児童が、本年度の中学校1年生での4月の段階で、どの程度で学力が伸びたかをまとめたものです。第一小学校の卒業生は国語、算数ともに16.6ポイント上昇しており、小学校5年生、6年生での学習を通し学力が伸びていることが分かります。右下にある《参考》をご覧ください。市全体の学力の伸び率を示しています。【国語】では4.1ポイント上昇、【算数】では3.1ポイント上昇しており、このポイントの上昇が市全体の上昇率ですので、第一小学校はこれを大きく上回って伸びていることが読み取れます。

こうした小・中学校の結果の資料については、前回の市全体の結果の資料と併せ、10月上旬に各校及び市のホームページに掲載する予定です。また各校の結果をこのように分析していきますと、基本的な知識の確認が必要な学校もあれば、身に付けた知識を活用して考える力を伸ばすことが必要な学校があるなど、各校の課題はさまざまあり、各校の課題や現状に合った指導の改善が望まれます。そのため、現在、調査結果の分析から事項の課題を見出し、授業改善案をまとめています。この授業改善推進プランについては、11月4日を目途に各学校のホームページに掲載する予定です。教育委員会としましても、各校の授業改善推進プランへの指導・助言を行うとともに、学校への指導訪問を通して授業改善推進プランの実現に向けての支援を今後も行っていきます。また、前回の市全体の結果から分かる課題、例えば小学校の国語、理科における基礎的・基本的な内容の定着にかかわることなどについて、今後、東京都から発表される児童・生徒の学力向上を図るための調査、結果なども踏まえ改善策を検討していきたいと考えています。

○直原教育長 今回は学校別のものですが、お話がありましたように、今日はその一部をお配

りし、学校ごとに課題がさまざまあるという状況を報告しました。前回の報告と併せまして、ご意見等ありましたらどうぞ。

- 尾関委員 中学校もそうですが、小学校も国語が押しなべて悪いと思います。その辺の分析や解決の方策についてはこれから検討していくのですが、現時点での見解があれば伺います。
- 加納指導室長 算数が伸びてきていることについては大変うれしく思っています。一つの理由としては、子供土曜塾を一昨年度から実施していることで、学習意欲等が高まっていることが考えられます。もう一つは、昨年度から都教委が作成した算数の東京ベーシックドリルを使って診断テスト等を行っていることがあり、伸び率も図っています。そうした取り組みが算数においては表れてきていると考えられます。国語についてですが、確かに課題が見えてきていますので、算数同様な取り組みを今後考えていかなければならないと思っています。
- 名取委員 直接関係ないかもしれませんが、最近、私が所属している勉強会で話題になっていることがあります。それは高校を中退する子どもが非常に多くなっているということです。それがいわゆる若年非正規ワーキングプアに直につながっていて、今後の日本社会にとって大きな問題だと指摘されています。高校中退の子どもたちの中には高校になっても九九ができない子どももいると聞いています。学力は積み重ねですから、小学校、中学校という段階はとても大事な時期になります。取り組み中の子供土曜塾や放課後子供教室などを広く展開されるということですので、学力の面についても期待しています。
- 直原教育長 もうしばらくすると東京都の調査結果も出ますね。
- 加納指導室長 はい。東京都の調査結果が公表されることに合わせ、学校には各校から上がってきた授業改善推進プランを教育委員会で改善したものを配布し、さまざまな取り組みを行っていきます。
- 直原教育長 学校の授業改善推進プランが学校ごとにでき上がった段階で、また状況を報告します。この件は以上で終わります。続いて、「②放課後子供教室について」の説明をお願いします。
- 市澤生涯学習課長 生涯学習課で行っている「放課後子供教室」の登録状況についてお知らせします。9月25日まで説明会を行い、登録の申し込みを受け付けていました。全体では登録児童数は294人となりました。学校別では第九小学校が134人、小山小学校が63人、南町小学校が97人となっています。4月1日現在の児童生徒数で割り返すと、第九小学校は登録率24.6%、小山小学校が17.2%、南町小学校が22.9%です。また、昨日は南町小学校で第1回目の放課後子供教室が開催され、53人の児童が参加しています。1～2年生が半数以上の35人前後、3年生が20人程度でした。高学年は運動会の準備があり参加しにくい状況だったようで、5年生が2人という状況でした。
- 直原教育長 先ずは南町小学校でスタートしたということです。この点についていかがでしょうか。
- 名取委員 ようやく本市でも放課後子供教室が発足したということで、今後の活動を期待しています。
- 直原教育長 これも随時、報告します。この件は以上で終了します。続いて、「③平成27年第3回市議会定例会について」の説明をお願いします。
- 師岡教育部長 平成27年第3回市議会定例会について報告します。今定例会については、

8月27日、9月8日の臨時会でも説明していますので、本日は結果について報告します。

本日の資料は2点、用意しました。1点目が「平成27年第3回市議会定例会会議結果」の一覧、もう一つが「平成27年第3回市議会定例会一般質問答弁概要」です。資料をご覧になりながらお聞き願います。第3回市議会定例会は8月31日から9月17日までの18日間の会議で開催されました。議案の審議結果ですが、議案第51号から第65号までは同意、承認または原案可決という結果になりました。第66号から第70号までの平成26年度決算の認定議案については継続審査とし、10月7日から9日までの3日間、決算特別委員会の中で審議されることになっています。「議案第51号 東久留米市教育委員会の委員の任命について」ですが、こちらは松本誠一教育委員会委員の任期満了に伴い、新たに委員を任命する必要があることから、細田初雄氏が同意をされています。続いて、資料はありませんが、「議案第61号 平成27年一般会計補正予算（第2号）」の中で教育総務課にかかわるものとして、教育振興基本計画の改訂に当たって開催する懇談会の委員謝金を要求しています。指導室にかかわるものとしては、教育センターで使用する事務用パソコン用ソフトの更新作業費委託及び特別支援教育の介助員にかかわる賃金などを要求しています。これらを含む補正予算は全て原案可決となっています。

「議案第65号、東久留米市特別職の給与の特例に関する条例」ですが、これは前回の臨時会でも説明していますが、本市が依然として厳しい財政状況にある中、本年8月に取りまとめた財政健全経営計画を示した今、改革、改善に取り組む姿勢を明らかにするため、市長及び副市長の給料を減額するという特例条例を定めたものです。平成27年9月1日から平成30年1月19日の市長の任期満了までですが、市長が現行の96万円を86万4,000円に、副市長が現行の84万円を79万8,000円にそれぞれ減額するものです。こちら議会初日に即決で原案可決をされています。

今回の一般質問の答弁内容の資料も添付しています。資料2枚目です。9月2日から7日まで4日間、一般質問が行われました。議長を除く21人の議員から質問が出され、教育委員会関連では18人から質問がありました。主な内容としましては、子どもが被害者となる痛ましい事件が発生している中で通学路の防犯対策、特別教室へのエアコン設置について、また来年度から設置をされる特別支援教室、学校サポート業務のあり方検討委員会などについて多岐にわたる質問がありました。ボリュームとしてはかなりあるので、この場での説明は省略させていただきますので後ほどご確認願います。また、今定例会には教育関連の請願はありませんでした。加えて文教委員会で審議される議案もなかったため文教委員会は開催されていません。

○直原教育長 この件については以上で終了します。そのほかの報告事項ということで、指導室長からお願いします。

○加納指導室長 特別支援教室設置計画（案）について、保護者対象の説明会を実施しましたので、口頭のみで報告します。9月25日（金）の午前10時からと26日（土）の午後2時からの2回、成美教育文化会館で特別支援教室設置計画（案）についての保護者説明会を開催しました。対象は小学校と幼稚園・保育園の年長組の保護者です。通級学級だけでなく、固定学級や通常学級に在籍する児童の保護者も対象としています。保護者の参加者は2回で合計34人でした。本市の特別支援学級の現状と特別支援教室設置計画（案）の説明の後、ご質問やご意見を伺っています。その中で特別支援学級設置について、グループ分け、4地

区に分ける地区分け、来年度からは2地区で、29年度からは全ての地区でといったような設置にかかわることについてのご質問やご意見はありませんでした。多かったのは「通級指導学級で実施している現在の学習を特別支援教室でも同様な効果が上がるように児童の実態に応じて実施してほしい」といったことにかかわる内容のご質問でした。児童一人ひとりの実態に応じた支援ができるよう準備を進めているとお答えしました。また、「現在の通級指導学級で行われている保護者会、授業参観、あるいは個人面談など、こうしたものも特別支援教室になっても実施されるのか」というご質問がありました。児童の学習の様子を保護者の皆様に知っていただくこと、また特別な支援について家庭と学校が連携をしていく、そのためにさまざまな相談をしていくことはとても大切なことですので、当然、特別支援教室になってからも実施の方向で検討していきたいと答えました。

5月に引き続き、2回目の保護者会を実施しましたが、その実施についても感謝の言葉を述べられた保護者もいらっしゃいました。現在、特別支援教室設置準備委員会で、具体的な内容については準備委員会では作業部会もつくり、そこには通級指導学級の担任の先生方に入ってもらい検討します。その中でさまざまな具体的な指導内容、指導方法についても検討していますが、保護者の期待に応えられるよう、特別支援教室の準備を進めていきたいと考えています。

○直原教育長 何かご質問はありますか。

○松本委員 制度が変わると不安に思われるのは当然ですので、丁寧に説明していただいて、納得されてから進めてほしいと思います。

○直原教育長 分かりました。ほかに報告事項はありますか。

○師岡教育部長 平成27年9月25日付で並木市長から「平成28年度予算編成について」という通知が出されています。平成28年度の予算編成に向けて、2ページ目に基本方針、3ページ目に留意事項、最後のページには28年度予算編成に向けた重点施策などがあります。こちらも後ほど、お読み取りいただければと思います。

○直原教育長 最後のところに、平成28年度予算編成に向けた重点施策の一つとして、27年度にも入っていましたが、「活力のある学校づくり」を28年度も入れてもらっています。委員の皆さんからは特にありませんか。

この後は人事案件に入りますが、その前に、松本委員が本日付で任期満了で退任されますので、一言ご挨拶をいただきたいと思います。

○松本委員 本日ももちまして2期8年間、教育委員をさせていただいてありがとうございました。歴代の教育長をはじめ、教育委員の皆様、事務局の皆さんには丁寧に教えていただいて助かりました。教育委員会のために何ができたのかは分かりませんが、私自身としては持てる力は十二分に出しきり、一生懸命にやらせていただいたつもりです。教育委員の職責の重さについてはいつも感じていました。明日になると自分の感覚としてどうなるのかなと思っていますが、少しは気持ちが楽になるかと思うほどです。

先ほど、名取委員もおっしゃっていましたが、教育行政はいろいろ所管していますが、小学校の学力を上げていくことは非常に大切だと思っています。学力だけではないと言いながらも当然ある程度は必要ですし、それが生涯にわたって学び続ける人間をつくりあげる基礎になることだと思います。今後とも教育長、教育委員、事務局の皆さんが一つのチームとして、東久留米の教育行政を支えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

2期8年間お世話になりました。

○直原教育長 ありがとうございました。

それではこの後、非公開で人事案件の審議に入ります。傍聴の方、教育部長、指導室長、教育総務課長以外の職員はここで退席をお願いします。

暫時休憩します。

(休憩 午前11時31分)

(傍聴者、学務課長、生涯学習課長、図書館長 退室)

(再開 午前11時33分)

※第14回臨時会は非公開の人事案件の審議を行った後に閉会しました。

東久留米市教育委員会会議規則第30条の規定により、ここに署名する。

平成27年9月30日

教育長

署名委員